



インタビュー 席

加治木町長

川野 威朗氏

——就任2期目の抱負と町政の課題を町政の課題としては、まず環境問題について、西別府に最終処分場の

建設を予定しているが、リサイクルは町全体で考えていくべき問題。資源ゴミの分別方法の検討から、各自自治体で責任を持って、また歩調を合わせて取り組んでいかなければならない。処分場は現在、(株)三水コンサルタントに委託して設計中だが、今年中に申請しなければ手遅れになるので、急がなければならない。これには市町村合併

行政改革については、今後課の統廃合を進めていき、職員の適正配置に努める。民間活力の導入も視野に入れている。町の施設を民間にまかせられないか、

新事業計画

町全体の排水計画作成

があり、1年かけて水量調査等を行う。平行して下水道も計画している。公共下水道、集落排水、合併浄化槽など、どれがベストか、検討したい。今の所まだ白紙だが、本町ではテニスコート

ラーを取り付ける。平成14年に加治木中学校3年生の教室補修が終了した。16年までに順次1・2年生の教室補修を終了させる。他にも老朽化施設のリニューアルは、積極的に進めていきたい。

経歴

鹿児島大学文学部卒。県町村会に勤務後、平成10年、加治木町長に就任。好きな言葉は「魅力のある人間でありたい」。昭和19年生まれ。現在純子夫人と2人暮らし。

(南)大地産業(浦野市市長、始良郡溝辺町)は

リサイクルセンター営業開始

木くず破砕チップ販売

大地産業



業務を開始した大地産業リサイクルセンター＝溝辺町の現地で

このほど、溝辺町三纏に設けた。2月10日付で新規許可を取得し、営業を開始した。処理能力は

ウッド・ジェラータバーチ

木目の表情の新カラー

システム

トステム(株)のウッド・ジェラータバーチは、壁面の色と「ジェラータバーチ」が自然に溶け込み、空間に誕生した。3月から発売

1日当たり1200ト。近年木材チップの需要が増加していることから、取引業者の要望に応えようと建設した。家屋解体材や木の根、枝等を破砕してチップに加工する。用途は堆肥化、紙の原料、建設工事の吹付材などで、受入先も既に決定している。

同社では、収集・運搬の認可も得ており、当面は始良地区を中心に業務



業務内容は、建設機械、仮設材、福祉器具等の総合レン

あの人 古賀 達朗さん

古賀 達朗さん。建設機械、仮設材、福祉器具等の総合レンタル業です。仕事上心がけている事は、誠意を持ってお客様に接すること。今後の目標は、福岡県は久留米市の出身なので、鹿児島弁をマスターすること。趣味は、ドライブ、映画、それから昼寝でしょうか。(始良町)

を開始する。都会的なモダンスタイルに相性のいいジェラータバーチは、木目の表情と質感で、あたたかなイメージを残した今までにないカラー。床材や階段にショコラードを使用すれば、今アメリカで大人気の最新インテリアバニラアンドチョコレートが実現する。もちろん床材にジェラータを使

城の坂。走らせた。イチゴの販売所が続々と営業を始めていた。思わず買い求めたが、鮮やかなルビー色が美しく、確かに春はそこまで来ている。春と言えは今週末、2月23日は隼人町の初午祭。由来には諸説あるが、その歴史は室町時代にもさかのぼる。旧暦の1月18日鹿児島神社で、美しく飾り立てたご神馬が鈴を鳴らして馬踊りを披露する。神宮のご神馬を飼育していた加治木町木田地の住民が奉納したのが始まりという説が最も有力で、現在でも一番馬は木田地のご神馬だ。踊るのは馬ばかりではなく、今年は26団体の踊り連が繰り出す。中でも厄年を迎える隼人中と日当山の卒業生は、毎年揃いの法被に身を包み、厄落としとばかりに力強い踊りを披露する。今年のは(株)末広建設の末廣浩二専務が、日当山中踊り連に参加される。2年前から始まった前夜祭も、総おどり、「豪華！穂垂れ鍋(熊襲鍋)」、在外国人の「世界の夜店」など、楽しい催しが盛りだくさんで大人気。さてこの初午祭、見物客が多く、駐車場には簡単に停められない。JR隼人駅を出るとすぐにたくさんのお店が並ぶので、見物しながら歩くのが通だぞ。

入札情報
企業情報
予算情報
建設情報
……etc

最新情報が
満載！

Kiss web

速くて豊富な情報
あなたのネットワークを拡げる

只今 無料体験
実施中！

必要な情報を必要な時に！

建設情報のトップランナー

Kiss web

URL <http://www.kc-news.co.jp>

お問い合わせ

TEL.099-222-6123

FAX.099-222-6145